

# ナント研修での経験

新潟大学・人文学部・人文学科・歴史文化学プログラム・4年・鈴木大次郎



私は約3週間、新潟大学の短期留学プログラムでフランスのナントへ留学しました。この研修の感想を一言で表すと「大満足」です。フランスというと「パリ」というイメージが強いと思いますが、ナントはとても美しい街で住みやすい街であると感じています。自然や歴史的建造物が多く、19世紀に建てられたアーケードの Passage Pommeraye の中には多くの商店が並び、旅行、あるいは暮らしていて飽きない街だと思います。

例えば、ロワール川は雄大で、ナントの勅令が出された **Château des ducs de Bretagne**、機械仕掛けの動物が動く **Les Machines de l'île**、植物園もあり、ヤギにエサをあげることができる **Jardin des plantes**、伝統的な **café** の **La cigale** など多くの観光名所があります。そしてナントの代表的ワインのミュスカデ、多くの美味しい食べ物は魅力あふれるものでした。ナントは自然、文化など調和のとれたとても素敵で魅力的な街であり、居心地は抜群でした。

私はナントでホストファミリーのお家にホームステイをし、滞在中に語学学校に編入していました。日本にいても文法学習、フランス人とフランス語の会話によって、フランス語の能力の向上は可能です。しかしながら、日常においては日本語の使用が主たるものになっています。ナントではそれが逆転し、フランス語の使用が主たるものになっていました。フランス語学校ではすべてフランス語、ホームファミリーでもすべてフランス語です。最初は理解できる範囲が狭く、落胆していました。しかし、日にちを重ねるごとに日本では感じる事ができないほどのフランス語能力の向上を実感していました。たとえ3週間という短い期間であっても日本にいての3週間のフランス語学習とナントでのフランス語学習は天と地の差であると感じています。特にホームファミリーとの会話はとても上達の大きな要因となったと感じています。例えば、「鼻はフランス語で何？膝はフランス語

で何？」とテスト、復習してくれるなどしたので単語が増えました。そしてフランス人同士の会話を聞くことで、こういう言い回しするのかと「生の」フランス語を肌で実感し、覚えることができました。ほぼフランス語しかない空間に身を置くことでコミュニケーションにおける生のフランス語能力が向上できたと感じています。今までとは違う空間に身を置くことは、不安もありましたがそれ以上の日本では味わえない刺激、楽しみ、より多くの成長の実感がありました。

言語能力の向上において留学は大きな役割をなすでしょう。毎日フランス語に浸ることで真のフランス語能力を身に着けられるといえるのではないのでしょうか。私は**3週間**という短い期間でしたがそう感じています。そして、フランス留学する際にナントはお勧めだと言えます。もちろん旅行でもとても満足できる街です。今回ナントの研修は自分にとってとても有意義となるもので、自分の大きな成長の要因となりました。これからも継続してフランス語の学習をしていきたいです。